

事業所名		絆KIDSたじま		支援プログラム（参考様式）		作成日		令和8 年 9 月 1 日	
法人（事業所）理念		子どもたちは未来の社会を担う大切な存在です。私たちは、すべての子どもが自分らしく成長し、可能性を広げていけるよう、心に寄り添う支援を行います。また、保護者の皆さまが子育てに喜びや楽しさを感じられる環境づくりを通して、ご家庭とともに子どもの育ちを支えていきます。							
支援方針		・一人ひとりの発達や特性に応じた個別支援計画を大切にし、子どもの「できた！」を積み重ねていけるよう支援します。 ・事業所での活動を通じて、子どもたちが社会性や自発性を育み、自信をもって社会とつながっていける土台をつくれます。 ・保護者との信頼関係を築き、子育ての悩みや不安に寄り添いながら、安心して相談できる場所を提供します。 ・保育所、幼稚園、学校、医療機関、相談支援事業所等と連携し、地域の中で切れ目のない支援を行います。 ・スタッフ一人ひとりが専門性を高め、子どもにとって最適な療育を提供できるよう、常に学びを深めてまいります。							
営業時間		月曜日～金曜日 9時00分～17時00分			送迎実施の有無		あり なし		
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・衣服の着脱、排泄などの身辺自立や、挨拶や片付けなど、生活力に繋がる力を育み、健康で安全な生活を送るための基盤を整えられるようサポートします。 ・発達段階や特性により自身の状態に気がつきにくかったり、意思表示が困難だったりします際には注意を払って観察し支援します。							
	運動・感覚	・室内での粗大運動や、公園遊びなどの戸外遊びも取り入れながら、身体づくりやバランス感覚などの発達の土台を築いていきます。 ・道具の操作が難しい、姿勢を保つのが困難な場合には、道具や環境に配慮して支援をします。 ・見たものや聞いたもの合わせて身体を動かす等、別々の感覚器に刺激を入れながら感覚の情報を整理しやすくなるように支援します。							
	認知・行動	・利用者の認知特性について分析し、本人視点の捉え方を予測して関わり方の手立てを保護者の方に伝えます。 ・利用者が物事の因果関係に気づき、適応的な行動の選択ができるような支援をします。							
	言語 コミュニケーション	・相手の言葉や身振りから意図を汲み取れるよう、利用者が理解できる方法で確認しながら双方向のコミュニケーションが成立しますように支援します。 ・利用者ごとの認知特性に配慮し、表情や声色、言葉の抑揚が読み取りづらい場合には、相手の意図を汲み取りやすくするようサポートすることによって相互的なコミュニケーションが成立しやすくなります。							
	人間関係 社会性	・利用者との信頼感を構築し、安心して利用できることを最優先に努めます。人との関わりの中で他者の価値観に触れることで利用中も過ごしやすくなるようなサポートをし、社会性の基盤を構築します。							
家族支援		個別面談の実施により、利用者の特徴や行動原理について共有をします。フィードバックの時間も活用し、家庭での対応の仕方の助言や困りごとの相談の受付を行います。			移行支援		利用者の状態や家庭のニーズを踏まえ、保育施設等に効果的な声かけの方法や、活動への参加を促すための配慮事項等、具体的な関わり方を伝達します。必要に応じて環境の調整等のサポートをします		
地域支援・地域連携		保育施設等や進学先や関係機関との連携を図りながら、情報を共有することで利用者の全体像をより細やかに把握できるようにします			職員の質の向上		事業所内の研修、ケース会議による利用者の捉え方や支援の方向性の共有を行います。		
主な行事等		避難訓練							